



氏名 岩田 諦 静
本籍地 千葉県
生年月日(年齢) 昭和十三年十一月二十九日生(満六十五才)
現住所 千葉県千葉市緑区大木戸町五四五番地

略 歴

昭和十三年十一月二十九日 福井県福井市鮎川町 誕生
昭和三十四年 三月 福井県立藤島高等学校 卒業
昭和三十八年 三月 立正大学仏教学部仏教学科(文学士) 卒業
昭和三十八年 四月 立正大学大学院文学研究科仏教学専攻(修士課程) 入学
昭和四十一年 三月 立正大学大学院文学研究科仏教学専攻(修士課程) 修了(文学修士)
昭和四十二年四月～四十四年十一月 Gandhi Hindustani Sahitya Sabha (ガンディ・インド文学協会、ニュー
デリー) Kasturba Rural Institute of Higher Education (パンジャール州ラージプラ)

インド留学

昭和四十六年 四月 立正大学大学院文学研究科仏教学専攻（博士課程）入学
昭和五十二年 三月 立正大学大学院文学研究科仏教学専攻（博士課程）単位取得満期退学
平成六年 六月 博士（文学）学位取得（立正大学）

職歴

昭和三十九年十一月 洗足学園第一高等学校非常勤講師（昭和四十二年三月まで）
昭和四十五年 二月 鈴木学術財団研究部員（昭和五十四年十月まで）
昭和四十六年 十月 文教大学女子短期大学部 非常勤講師（昭和五十一年三月まで）
昭和五十二年 五月 立正大学法華経文化研究所研究員（平成三年三月まで）
昭和五十七年 四月 立正大学仏教学部 非常勤講師（平成十一年三月まで）
昭和五十七年 五月 立正大学仏教学部 非常勤講師（昭和五十八年三月まで）
昭和六十二年 十月 立正大学法華経文化研究所特別所員（現在に至る）
平成三年 四月 身延山短期大学 非常勤講師（平成三年三月まで）
平成三年 四月 身延山短期大学 講師（平成四年三月まで）
平成五年 四月 身延山短期大学 助教授（平成七年三月まで）
平成七年 四月 身延山短期大学 教授（平成九年三月まで）

平成八年 四月 立正大学日蓮教学研究客員所員（現在に至る）
 平成九年 四月 身延山大学 教授（平成十六年三月定年）
 平成十年 四月 身延山大学図書館長（平成十一年三月まで）
 平成十一年 四月 仏教学部長（平成十三年三月まで）
 平成十一年 四月 身延山学園理事・評議員（平成十三年三月まで）
 平成十四年 四月 身延山学園評議員（平成十六年三月まで）
 平成十五年 四月 身延山大学事務局長（平成十六年三月まで）
 平成十六年 三月 身延山大学教授退職

学会社会等における活動

昭和三十九年 五月 日本印度学仏教学会 会員（現在に至る）
 昭和五十六年 十月 仏教文学会会員（現在に至る）
 昭和五十六年十二月 日本宗教学会 会員（現在に至る）
 平成三年 十月 日本仏教学会 会員（現在に至る）
 平成三年 十月 日蓮宗普通検定試験委員及び講師（平成十五年九月まで）
 平成八年 七月 日蓮宗勸学院講学（現在に至る）
 平成十一年 四月 日本印度学仏教学会理事・評議員（平成十三年三月まで）

著書

- 「初期唯識思想研究―世親造『撰大乘論釈』所知相章の漢藏対照―」昭和五六年二月 大東出版社
「仏教における「こころ」と「からだ」―初歩唯識入門―」平成十三年九月 山喜房仏書林
「真諦の唯識説の研究」平成十六年三月 山喜房仏書林

学術論文

- 「『撰大乘論釈』に説かれる仏国土と菩薩との関係について」昭和四一年七月『大崎学報』一二二号
「真諦の阿摩羅識について」昭和四二年七月『大崎学報』一二二二号
「amala-jñāna と阿摩羅識について」昭和四六年三月『印度学仏教学研究』通卷三八号（一九卷二号）
「真諦の阿摩羅識説について」昭和四七年三月『鈴木学術財団研究年報』八号
「『撰大乘論』と九識説について」昭和四七年三月『印度学仏教学研究』通卷四〇号（二〇卷二号）
「真諦の三性説について」昭和四七年 一二月『印度学仏教学研究』通卷四一号（二二卷一号）
「真諦の三性説について（続）」昭和四六年 一二月『印度学仏教学研究』通卷四三号（二二卷一号）
「真諦の三性三無性説について」昭和四九年五月『鈴木学術財団研究年報』一〇号
「真諦諸論書における阿黎耶識説について（一―三）」昭和五十年十月『国訳一切経』三藏集第二輯（大東出版社）
「『撰大乘論世親釈』の漢藏和三訳対照―釈心知勝相品（その一）―」昭和五二年一〇月『鈴木学術財団研究年報』一四号

「三性説における *lakṣaṇa, svabhāva, niṣvabhāva* について」昭和五三年三月「印度学仏教学研究」通卷五二号
(二六卷二号)

「撰大乘論世親訳」における真諦訳と笈多訳の関連について」昭和五五年三月「大崎学報」一三三三号

「笈多訳『撰大乘論』について」昭和五八年三月「印度学仏教学研究」通卷六二号(三一卷二)

「発心集」の形成と法華経関連の説話」昭和五九年二月「大崎学報」一三三七号

「世親造『撰大乘論釈』の漢訳形態について」昭和六〇年三月「印度学仏教学研究」通卷六六号(三三卷二号)

「発心集」における法華経説話について」昭和六〇年六月「大崎学報」一三三九号

「真諦訳『撰大乘論世親訳』における変異の訳語について」昭和六〇年二月「大崎学報」一四〇号

「開目抄」における法相学批判について」昭和六二年六月「大崎学報」一四三三号

「真諦訳の『撰大乘論世親訳』における三性説について(上)」昭和六二年三月「法華文化研究」一三三三号

「真諦訳の『撰大乘論世親訳』における三性説について(下)」平成元年三月「法華文化研究」一五五号

「上総七里法華地域における十ヶ村題目講について」平成二年三月「棲神」六二二号

「世親造『撰大乘論釈』所知依章の漢蔵対照(一)」平成四年三月「法華文化研究」一八八号

「転識論」における三性説について」平成四年三月「棲神」六四四号

「唯識説における心と身体について」平成四年五月「日本仏教学会年報」五七七号

「中辺分別論」における三性説について」平成六年三月「大崎学報」一五〇号

「真諦訳『撰大乘論世親訳』における此界無始時偈と最清浄法界について」平成八年二月

【勝呂信静博士古稀記念論文集】（山喜房佛書林）

「法相教学と文学」平成八年七月 今成元昭編「仏教文学の構想」（新典社）

「真諦訳『撰大乘論世親釈』における阿黎耶識説について」平成九年三月『印度学仏教学研究』通巻九〇号

（四五巻二号）

「摩訶止観」第五上第七正修正観における心意識（一念三千）説について」平成九年三月『身延論叢』二二号

「真諦訳『撰大乘論世親釈』における増広部分の検討（一）」平成二二年三月『身延論叢』五号

「世親造『撰大乘論釈』所知依章の漢蔵対照（二）」平成二二年一〇月『身延山大学仏教学部紀要』一号

「真諦訳『撰大乘論世親釈』における菴摩羅識説について」平成二二年一二月『印度学仏教学研究』通巻九七号

（四九巻一号）

「真諦訳『撰大乘論世親釈』における種子説について」平成一三年三月『田賀龍彦博士古稀記念論集

仏教思想仏教史論集】（山喜房佛書林）

「世親造『撰大乘論釈』所知依章の漢蔵対照（三）」平成一三年一〇月『身延山大学仏教学部紀要』二二号

「法華玄義』における第九菴摩羅識説について―真諦訳『撰大乘論世親釈』との関連―」平成一三年三月

勝呂信静編『法華経の思想と展開』（平楽寺書店）

「真諦の唯識説の特色について」平成一三年一二月『印度学仏教学研究』通巻九九号（五〇巻一号）

「真諦訳『撰大乘論世親釈』における増広部分の検討（二）」平成一四年三月『身延論叢』七号

「真諦訳『撰大乘論世親釈』における増広部分の検討（三）」平成一四年三月『所報』六号

「真諦訳」撰大乘論世親釈」における道後の真如について」平成一四年三月「佐々木孝憲博士古稀記念仏教学仏教

史論集」(山喜房佛書林)

「九識説と天台日蓮宗」平成一五年三月「渡邊寶陽先生古稀記念論文集 法華仏教文化史論叢」(平楽寺書店)

「真諦訳」撰大乘論世親釈」における増広部分の検討(四)」平成一五年三月「身延論叢」八号

辞典(項目分担)

「仏書解説大辞典補遺」昭和五〇年六月 大東出版社

「日蓮宗事典」平成五六年十月 日蓮宗宗務院

「日蓮聖人遺文辞典 歴史篇」昭和六〇年六月 身延山久遠寺

「仏典入門辞典」平成一三年六月 永田文昌堂

「日蓮聖人遺文辞典 教学篇」平成一五年一〇月 身延山久遠寺

編集(協力)

中村孝也「近世日什門流概説」平成十年六月(平楽寺書店)

翻訳

「インドの仏教(カーカーサーハブ・カールルカル著 [Ivan Vyavastha]より)」昭和四六年一二月

その他

- 「発菩提心について―正法眼蔵隨聞記を中心として―」昭和三九年五月「仏教学論集」創刊号
- 「近世インド文化史におけるカビールの位置について」昭和五三年九月「大崎学報」一三一号
- 「近世インドの宗教改革者カビールとその時代」昭和五七年三月「法華」三月号
- 「近代化と信仰生活―丸山行遼の生涯と思想」昭和五七年三月「仏教思想と近代」
- 「釈尊成道の聖地 仏陀伽耶」『日蓮宗新聞』昭和五八年六月一〇日号
- 「經典を伝えた種々なる言語」『日蓮宗新聞』昭和六〇年六月一日号
- 「釈尊成道会によせて」『日蓮宗新聞』昭和六〇年十二月一日号
- 「春の彼岸によせて」『日蓮宗新聞』昭和六一年三月一〇日号
- 「藤井日達―平和への歩み」昭和六一年一月一日「正法」三二六号
- 「やさしいヒンディー語（コラム）」昭和六〇年七月―六一年九月 四一回連載「日蓮宗新聞」

書評と紹介

「望月欲厚編『近代日本の法華仏教』 金倉円照編『法華經の成立と展開』」昭和四六年三月

「鈴木学術財団研究年報」五号

「横超慧日編」法華思想」昭和四六年三月「鈴木學術財団研究年報」五号

「宮坂宥勝」仏教の起源」昭和四七年三月「鈴木學術財団研究年報」八号

「坂本幸男編」法華經の中国的展開——研究V」昭和四八年三月「鈴木學術財団研究年報」九号

「宮崎英修・茂田井教亨編」日蓮聖人研究」昭和四八年三月「鈴木學術財団研究年報」九号

「佐藤密雄博士古希記念論文刊行会編」佐藤密雄博士古希記念仏教思想論叢」昭和四九年三月

「鈴木學術財団研究年報」一〇号

「Myoho-Renge-kyo ; The Sutra of the Lotus Flower of the Wonderful Law Tr. by Bunno Kato (Risso

Kouseikai, 1971)

The Lotus Sutra ; The Sutra of the Lotus Flower of the Wonderful dharma Tr. by Senchu Murano

(Nichiren Shu Headquarters, 1974) 昭和五〇年九月「鈴木學術財団研究年報」一一号